

合皮の天敵！！「加水分解」

加水分解って何？

合皮をはじめウレタンを主原料としたタイプのレザーが水分と長時間接すると化学変化を起こすことがあります。鞄や財布の内側、下駄箱に入れたままのスニーカーの底などボロボロと劣化をしているのを見たことがありませんか？

そう！それが、「加水分解」です。
同じことが椅子やソファにも起こるんです。



価格を優先し、耐久性の低い樹脂を使った合皮が市場に横行しています。

でも、安心して下さい。当社の合皮は10年使用しても加水分解を起こさない品質基準の商品ばかりです。

だからと言って今の商品は10年前に開発、試験をしたものではありません。

通称ジャングルテストとは？

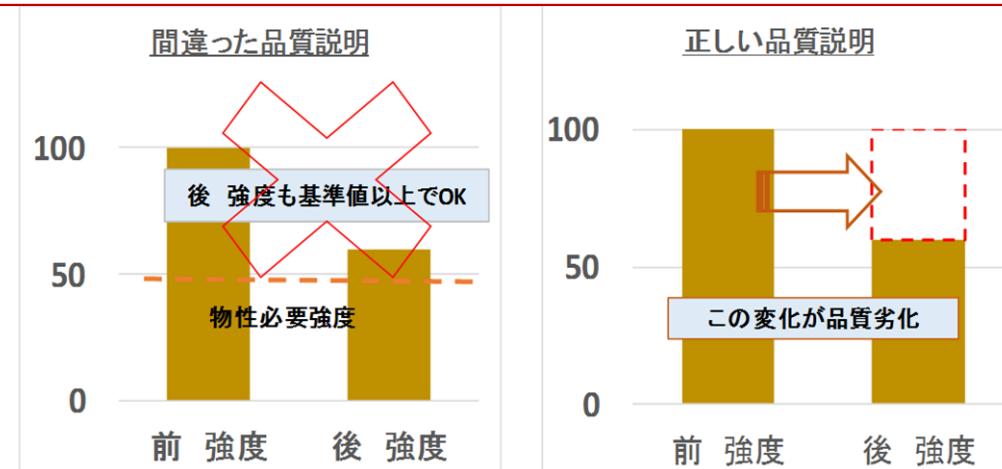
機械的に作った湿度95%、室温70℃と言う合皮には過酷な環境に放置し、劣化を促進させます。ジャングルテストの1週間=実使用の1年と言うのが一般的です。
すなわち、ジャングルテスト10週間=10年間と言うことです。

その後、剥離強度などの強度試験の変化を測定し、安心できるもののみを採用しています。

ジャングルテストを悪用！！

加水分解促進テストの結果説明で「分解促進後の剥離強度が剥離強度の基準値よりも高い。よって問題ない」と説明している例が後を絶ちません。

ジャングルテスト後の強度試験で一番大切なのは「強度数値ではなく、変化」なのです。



「加水分解について」